

## 第 14 回伊賀市歴史的風致維持向上協議会会議録

日 時 2022（令和 4）年 1 月 21 日（金）10：00～11：30

場 所 伊賀市役所 2 階 202・203 会議室

出席者

### 《学識経験者》

菅原洋一（会長 三重大学名誉教授）

### 《市民団体代表等》

松生龍治（上野西部地区住民自治協議会長）

奥川繁也（島ヶ原地域まちづくり協議会副会長）

橋本康郎（阿保地区住民自治協議会会長）

### 《文化財保護審議会》

滝井利彰（伊賀市文化財保護審議会会長（建造物担当））

### 《行政関係者》

林 幸喜（三重県県土整備部都市政策課長）

藤井理江（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課）

代理 伊藤裕偉（三重県教育委員会事務局社会教育・文化財保護課有形文化財班長）

東 弘久（伊賀市産業振興部長）

山本 学（伊賀市建設部長）

月井敦子（伊賀市教育委員会事務局長）

### 《事務局》

堀川敬二（伊賀市産業振興部にぎわい創出推進監兼中心市街地推進課長）

川部正章（伊賀市建設部都市計画課長）

笠井賢治（伊賀市教育委員会事務局文化財課長）

福島伸孝（伊賀市教育委員会事務局文化財課主幹）

## 1. 開会挨拶

文化財課長挨拶・委員出席者を確認し、会議が成立していることを報告。

「伊賀市歴史的風致維持向上協議会設置要綱」第6条により以後、菅原会長が議事進行。

## 2. 報告事項

### (1) 令和3年度事業について

#### ①進捗管理の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料1

参考資料1（中間評価シート）

《福島から資料1及び参考資料1により進捗管理状況及び中間評価の意見・コメント及び課題整理・今後の対応を報告。》

（委員から質問・意見無し。）

#### ②個別事業の進捗について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料2

参考資料2（令和3年度進捗管理シート中間）

#### ③施設の入り込み客数等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料3

《福島から資料2と3及び参考資料2により個別事業の進捗及び入り込み客数等の現状を報告》

橋本委員：初瀬街道まつりについて、今年こそは初瀬街道阿保宿において、開催したかったのですが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止とせざるを得ないという状況です。

菅原会長：新型コロナウイルス感染が早期に収束し、開催されることを切に望みます。

参考資料2の16ページ、他にも含めてですが、着手前・着手後の写真は同じ方向からのカットで比較できるように掲載をお願いします。

事務局：対応いたします。

滝井委員：参考資料2の39ページですが、「インスタグラム」を一般的な擁護して「SNS」とすべきだと考えます。

事務局：修正いたします。

菅原会長：参考資料2の28ページの課題と対応方針の中に「既設の大きさや設置方法にこだわることなく」との記載があるが、伊賀市として設置する看板には定まった仕様がなくてはならないと考えますがいかがですか。

事務局：これまで設置している指定文化財の説明看板については記載内容や写真、大きさ等一定の基準があり、設置箇所の状態等で変更する内容と考えますので修正いたします。

菅原会長：参考資料 2 の 29 ページには島ヶ原駅前の多くの看板が並んだ状態が写真として掲載されていますが、経緯をお教えてください。

事務局：島ヶ原まちづくり協議会の事務局長に案内いただき、現状を確認させていただきました。看板の現状として島ヶ原駅前に設置されている看板の写真を掲載させていただきました。これそのものの修繕をするわけではなく、大和街道島ヶ原宿の中で設置していくことを検討しています。

菅原会長：分かりました。

松生委員：参考資料 2 の 36 ページですが、「(令和 3 年度)指定・登録文化財の件数は、前年比 0 %、歴史的形成建造物指定・候補の件数は 0 %である。」とあるが、現状、指定や登録などの文化財が無いということでしょうか。

事務局：文化財や歴史的形成建造物の調査は行っており、今後、指定・登録の候補はあります。「0」は削除し、次回、法定協議会において再提案をさせていただきます。

### 3. 協議事項

(1) 令和 3 年度計画変更について・・・・・・・・・・・・・資料 4-1～3  
参考資料 3 (計画変更案)

① 個別事業について・・・・・・・・・・・・・資料 4-1  
《福島から資料 4-1～3 及び参考資料 3 により令和 3 年度計画変更案を提案した。》

伊藤委員代理：参考資料 3 の 15 ページ「人口動態表」「世帯動態表」が掲載されているが、5 年ごとの更新がされているようであるが、平成 27 年の 5 年後では令和 2 年のデータが入ると思うのですがどうですか。

事務局：5 年ごとに行われる国勢調査から数値を得ていますが、そのデータが公表されていないので現状のままとしています。

菅原会長：参考資料 3 の 42 ページで大村神社の宝殿について、入母屋造（春日造風）とあるが、記載するのであれば「春日造風」について説明する必要があるが、「入母屋造」でよいと考えます。

事務局：（春日造風）を削除します。

滝井委員：観菩提寺について、以前、楼門の漆喰壁が突かれたことがあったが、その後どうになりましたか。

事務局：漆喰壁の窪みが 1.5 cm 程度であり、部分的修理はできないので面的な修理が必要と思っています。

菅原会長：参考資料 3 の 196 ページから 197 ページに「上野文化センター」の写真が掲載されているが、事業のシートは良いと思いますが、

ヘリテージマネージャー活動支援事業の写真については、他の登録文化財を掲載してよいと思います。

- 事務局 : 他の登録文化財の写真を検討します。
- 松生委員 : 参考資料3の15ページの「人口動態表」や「世帯動態表」について、「国勢調査」の数値を使用しているのであれば、他のところでは「農業サンセス」と出典を書いているので、「国勢調査」と記載したらどうか。
- 事務局 : 出典を記載いたします。
- 菅原会長 : 参考資料3の139ページに赤井家住宅（県指定）とありますが、国登録だと思えます。
- 事務局 : 修正いたします。
- 伊藤委員 : 国補助事業については三重県も補助しているので支援事業名等へ記載いただけたらと思えます。
- 事務局 : 国補助事業には三重県からも補助を受け、実施していますので、追記いたします。
- 伊藤委員 : 説明のあった観菩提寺の多聞天・広目天の保存修理と蓑虫庵の保存修理については現在、協議中でもあり、支援事業名の欄には括弧書きで予定と記載をお願いしたい。
- 事務局 : 追加していくことはよろしいですか。
- 伊藤委員 : それは良いです。
- 事務局 : 現在、蓑虫庵については本年度、調査設計を実施しており今後の事業について指導を頂いているところです。また多聞天・広目天については協議をしておりますが、事業としてはこれからですので、(予定)と記載していきます。
- 菅原会長 : 他にございませんか。特になし。引き続いて説明をお願いします。

② 歴史的風致形成建造物の指定と候補について・・・・・・・・・・資料4-2  
《福島から資料4-2及び参考資料3により歴史的風致形成建造物の指定3件、  
候補5件を提案した。》

- 滝井委員 : 長屋門・蔵は曙保育園北側であるが、石柱があったように思う。  
明治以降のものであると思うが、含めたらどうか。
- 事務局 : 押坂製糸所に伴う石柱と思われます。以前、緊急調査が行われており平面図等もあるので検討します。
- 伊藤委員 : 参考資料3の214ページの「旧三重県第三中学校」ですので修正をお願いします。「旧三重県第三中学校」では本年度と次年度の2年間、耐震補強工事を実施しています。正門の基礎等を解体した状態となっておりますが、こうした事業についても何らかの形で

計画に記載していくことは出来ますか。外壁も再塗装するので景観の向上に寄与すると思います。

事務局 : 県指定文化財の大規模な耐震補強工事であり、文化財保存とともに景観の維持向上につながると思いますので計画への記載を検討します。

橋本委員 : 阿保地区の常夜灯ですが、どこまで協議をされていますか。所有者を確定すると管理の責任も出てくると思います。

事務局 : 西部の常夜灯については講の運営と聞きましたが、所有者として同意を頂く話には至っていません。また東部の常夜灯についても土地所有がはっきりしなかったと思っています。今後の地域との協議の中で相談をさせていただきたいと考えます。

菅原会長 : 他に意見はございませんでしょうか。ご意見がないようなので、続いて、スケジュールについて説明をお願いします。

③ 計画変更スケジュールについて・・・・・・・・・・・・・・・・資料4-3

事務局 : 個別事業の新規3事業の追加、既設2事業の削除及び歴史的形成建造物の指定3件、候補5件について承認を受けましたので、1月中に修正作業を行い、2月下旬申請に向けて事務を進めます。また、計画変更修正版が出来た際は委員に送付させていただきます。

菅原会長 : 本日は中部地方整備局の嘉戸様にご参加いただいておりますのでご意見を頂戴いただきたくお願いします。

調整官 : 報告及び協議をお伺いして感想ではありますが述べたいと思います。ハード面については進捗が図られているものと感じましたが、ソフト面につきましては新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、厳しいところがあることが分かりました。また情報発信についてお話がありましたが、中部地方整備局と歴まち認定都市でサミットを開催していますし、SNSによる情報発信を実施しており、今後も積極的に参加させていただきたいと思います。個別事業について取り下げのお話がありましたが、地域との協議を引き続きお願いしたいと思います。

伊賀市におかれましては「忍者市チャンネル」を開設されていると思います。是非、情報発信に活用願いたいと思います。

事務局 : ありがとうございます。「忍者市チャンネル」活用させていただきます。また、先ほど説明もさせていただきましたが、個別事業の取り下げについては、地域で協議を行い、地元の意向であることを申し添えます。

菅原会長 : 協議事項について、すべて終了しましたので進行を事務局にお返しします。

事務局 : ありがとうございました。

#### 4. 閉会挨拶

笠井課長閉会挨拶

(午前 11 時 30 分終了)